



昆中通信

目標にむかって

認め合う
高め合う

令和8年1月23日（金）No.10

思いよ伝われ 頼いよ叶え

校長 岩谷拓実

年が改まり、令和8年がスタートしました。生徒の皆さん、保護者の皆様、地域関係者の皆様におかれましては、改めてよろしくお願ひいたします。

学校では1月16日（金）に冬休み明け集会が行われ、3年生は卒業まで39回、1・2年生は45回の登校日を残すところとなりました。4月からはどの学年も新たな環境・新たな立場で生活をスタートすることとなるため、1年間のまとめと次年度に向けての目標の明確化が必要であり、そのための期間であると言えます。

特に3年生は進学に向け、先日は入学願書の提出を行うなど、公的な手続等が次々とやってきます。ここ数年で、紙にペンで書き込んでいた入学願書も、Web申請に変わるなど、急激な変化に対応する力が求められています。難しいこともたくさんあると思いますが、1つ1つを乗り越えていくことは、将来社会に出てからの生活にきっと役立つものだと思います。

入試にかかわっては、現在多くの学校が「面接試験」を課しています。昆布森中学校では少人数の利点を生かし、それぞれの生徒に対し面接練習を5回程度行っています。また、生徒同士での練習や、どう答えるか、何を覚えておくかなど、様々な取り組みが展開されています。

校訓 拓く（英知・創造・愛郷）

自主性に富み生き生きと生活する人間

- ☆ 学力を身につけた生徒
- ☆ 意志の強固な生徒
- ☆ 体力の充実した生徒
- ☆ 思いやりのある生徒

釧路町立昆布森中学校

面接において大切なことは、「自分の考えを相手に理解してもらえるように伝える」ことです。中には「正解」のある質問（この学校（受験する高校）の校訓を答えてくださいなど）もありますが、多くは受験する生徒のことを可能な限り知るためにされる「どう考えているか」「どう思っているか」についての質問です。「自分はこんなふうに考えています」「自分はそれについてこう思います」など、その答えに正解はありません。これまでに先輩たちが残してくれた様々な面接における問い合わせに対し、「自分なりの考え方」を自分と対話し、じっくりと考えておくと良いでしょう。想定外の質問や、言い間違えにも心配することはありません。高校側で期待するのは、「この生徒はどれだけうちの高校に来たいと強く願っているのか」「この生徒はうちの高校にきて、一生懸命頑張ってくれるだろうか」という思いを伝えてくれる生徒であることです。真剣に、全力で行っている中でのミスは大きく影響するものではありません。「自分はこれだけのことを中学校時代やってきた」「自分は面接のために、これだけ頑張ってきた」「絶対この高校に入るんだ！」という思いを伝えてほしいと願います。

1・2年生についても、今から考え、準備し、練習しておくことは非常に良いことだと思います。もちろん、自分がどれだけ一生懸命にやったつもりでも、相手がどう受け止めているかが大切です。自分の思いが相手にどう伝わっているかを仲間同士で対話し、より良い伝え方ができるよう、これからの中学校生活の様々な場面で挑戦してほしいと思います。



行事予定



日	曜	行 事 予 定	①=学年
1	日		
2	月	全校朝会 避難訓練	
3	火	③放課後学習	
4	水	③学力テスト 専門委員会	
5	木	町研（午前授業・13:15 下校・給食あり）	
6	金	部	
7	土	バドミントン学年別大会	
8	日		
9	月	新入生保護者説明会（予備 16日）	
10	火	公立推薦面接 校長会議	
11	水	建国記念の日	
12	木	出願状況（最終）10:00web SC12:00	
13	金	武修館入選 職員会議 町P連役員会 18:30 別小	
14	土	部	
15	日		
16	月	いじめ根絶子ども会議	
17	火	③租税教室	
18	水	ALT 公立推薦内定通知（→確約書提出/再出願） 教頭会議	
19	木	①②学年末テスト範囲提示 校内研修	
20	金	総合学習発表会（①9:35/②10:15/③10:35頃）	
21	土	保護者・地域のみなさま、ぜひご来校を！	
22	日		
23	月	天皇誕生日	
24	火	再出願・入学確約書提出〆切	
25	水	ALT 専門委員会	
26	木	水産学習（ロープ）6校時	
27	金	①②参観日	
28	土		

推薦内定者
で入学確約
書を提出し
ない場合、
一般受験・
二次募集と
も受験不可

目標にむかって 認め合う
高め合う

R7後期 学校生活アンケート結果

(回答数 生徒20 保護者13 職員9)

No.	評価項目 [生徒:私は 保護者:わが子は 職員:生徒は]	R6.7			R6.12			R7.7			R7.12		
		生徒	保護者	職員	生徒	保護者	職員	生徒	保護者	職員	生徒	保護者	職員
1	授業はわかる・できる・楽しいと感じている。	3.7	3.0	3.5	3.8	3.3	3.6	3.3	2.6	2.9	3.2	2.6	3.1
2	授業の内容を理解しようと努力している。							3.7	2.8	3.4	3.6	2.7	3.3
3	学校での小中学生の交流を通して、地域の仲間意識が高まっている。	3.2	3.2	3.2	3.1	3.3	2.9	3.5	2.8	3.2	3.2	3.0	3.1
4	メディアコントロールデーなどの取り組みで、基本的な生活リズムが整っている。	2.6	2.8	3.0	3.0	3.1	2.9	2.9	2.2	2.5	2.7	2.2	2.4
5	地域行事への参加など、社会や地域への貢献する意識が高まっている。	3.2	3.0	3.2	3.2	3.3	3.1	3.5	2.7	3.2	3.3	2.7	3.2
6	おたよりやホームページなどで、学校全体の様子を把握している。	3.8	3.5	3.8	3.7	3.7	3.8	2.7	2.3	2.8	3.2	2.9	3.1
7	学校生活は楽しいと感じている。	3.7	3.3	3.8	3.9	3.4	3.8	3.4	3.3	3.4	3.4	3.3	3.2
8	目標や意欲を持って授業に臨んでいる。	3.7	3.1	3.6	3.6	3.1	3.8	3.4	2.7	3.1	3.3	2.7	3.1
9	宿題を含め、計画的に家庭学習している。	3.2	3.0	3.3	3.6	3.1	3.4	2.7	2.9	2.5	2.9	2.7	2.4
10	仲間の頑張りを素直に認めている。							3.9	3.5	3.2	3.6	3.6	3.4
11	自分の頑張りを他の生徒から認められていると感じている。							3.2	3.0	3.2	3.0	3.0	3.4
12	いじめや嫌がらせ（加害・被害）もなく、他者に思いやりを持って生活している。	3.7	2.8	3.8	3.8	3.5	3.7	3.6	3.3	2.8	3.7	3.3	3.2
13	ルールやマナーを守り、正しい判断・行動ができる。	3.7	3.2	3.5	3.8	3.3	3.8	3.4	3.4	3.2	3.5	3.6	3.3
14	行事のねらいを理解して主体的に取り組んでいる。	3.7	3.2	3.6	3.8	3.5	3.6	3.3	3.3	3.4	3.5	3.3	3.6
15	教育相談や学習相談で、悩みや困りごとを解決できている。	3.6	2.9	3.5	3.6	3.4	3.8	3.3	3.0	3.4	3.5	3.0	3.3
16	自分の将来や進路に向けて努力している。	3.5	3.0	3.4	3.6	3.4	3.7	3.4	2.7	2.9	3.3	2.7	3.1
17	学校でのできごとを家の人に伝えている。	3.4	3.3	3.6	3.5	3.5	3.7	3.4	2.7	2.9	3.2	2.8	3.0
18	家人や地域の方が学校に来ると、いっそうがんばろうとする意識が高い。							2.9	2.9	3.3	2.8	2.7	3.4

平均 3.5 3.1 3.5 3.6 3.4 3.5 3.3 2.9 3.1 3.3 2.9 3.2

前回比 0.3p以上UP 0.3p以上DOWN



12月に実施した学校生活アンケートの結果です。
前回と比べて改善傾向にあります。ご意見を参考
に次年度の改善に向けて検討しています。

(強み・弱みとも複数選択可)

昆中の強み						昆中の弱み							
生徒		保護者		職員		項目		生徒		保護者		職員	
数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%
1	5.0	0	0.0	0	0.0	学力		5	25.0	0	0.0	7	77.8
2	10.0	1	7.7	0	0.0	体力		2	10.0	0	0.0	5	55.6
11	55.0	4	30.8	1	11.1	生徒の人がら・人間性		3	15.0	1	7.7	1	11.1
5	25.0	1	7.7	1	11.1	授業のわかりやすさ・質		1	5.0	1	7.7	0	0.0
11	55.0	8	61.5	2	22.2	生徒同士のつながり		3	15.0	2	15.4	3	33.3
6	30.0	6	46.2	6	66.7	生徒と先生のつながり		1	5.0	0	0.0	0	0.0
3	15.0	3	23.1	1	11.1	学校と保護者のつながり		0	0.0	0	0.0	1	11.1
10	50.0	4	30.8	2	22.2	学校と地域のつながり		0	0.0	0	0.0	2	22.2
9	45.0	4	30.8	2	22.2	小学校との連携		1	5.0	0	0.0	2	22.2
7	35.0	0	0.0	3	33.3	昆中独自の教育課程		0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	15.0	0	0.0	5	55.6	生徒数		7	35.0	6	46.2	0	0.0
0	0.0	0	0.0	4	44.4	職員数		2	10.0	0	0.0	0	0.0
1	5.0	0	0.0	0	0.0	施設・設備の充実		5	25.0	2	15.4	1	11.1
2	10.0	1	7.7	0	0.0	特になし		5	25.0	4	30.8	1	11.1
					その他								

○学校の様子が家庭に伝わるようになってきました。しかし、高い数字とは言えません。生徒のよりよい成長のため、家庭や地域と学校が遠慮なく思いを伝え合い、相互理解や信頼関係が深まるよう工夫します。

○生徒同士のつながりや仲間意識、思いやり、仲間の頑張りを認める気持ちなど、生徒の人間性やつながりについて特に生徒や保護者は高評価です。

△その一方、他者から認められた実感は少なく、生徒間では細かな不満も見られます。他者と信頼関係を築く力は大きな課題です。

△職員は学力・体力の実態に対して危機感を持っています。客観的に学力をかけるには、全道や全国の標準学力検査（釧路町標準学力検査等）が参考になります。将来の夢を持ち、その実現のための努力の一つとして日々の学習に臨めば無限の伸び代があると信じる職員の昆中生への思いです。

△生徒数の少なさには長短それぞれ考え方があります。義務教育学校化への動きも町教委より示されました。地域や少人数の長所を最大限に生かしつつ、小中9年間や高校との接続を見通した教育課程をさらに模索します。

学校は、主役である生徒一人一人が自分の夢に向かって挑戦し続け、よりよい人生を歩めるよう、さまざまな形での学びを通して、知識・技能や心と体、社会性の成長を促す場所です。昆布森中学校では、生徒が生き生きと登校できる環境づくりと、より質の高い教育を追究して参ります。引き続き、家庭・地域・学校が三位一体となった教育活動に、ご支援・ご協力をお願いいたします。